

小学校6年 学校の学びと家庭での学びが連動した、番組を活用した授業づくり

千葉市立金沢小学校 和泉 貴裕

【実践報告の概要】

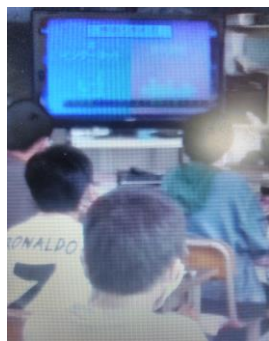
NHK for School の番組を授業中に視聴したことで、家庭での学びが促進され、学校での協働的な学びが充実した。『アクティブ10 プロのプロセス』『しまった！～情報活用スキルアップ～』を視聴したことにより、情報活用能力が高まり、本実践だけでなく今後の学習や生活に生かそうとする気持ちが高まった。

【取組の具体】

小学校6年 国語「日本文化を発信しよう」

1. グループで題材を決め、どんなパンフレットを作るか構想を練る。

- ・グループで題材を決める。
- ・調べたいことをグループで話し合い、各自が調べたことを決定する。
- ・『プロのプロセス』の「情報の集め方」を視聴し、どのように情報を集めたらよいかを考える。
- ・家庭で、情報を集めるための準備をしたり、実際に調べたりする。



2. 決めた題材について詳しく調べる。

- ・家庭で準備したものを基に、情報を集める。
- ・家庭で調べても分からなかったことについては、情報共有してグループで調べる。

3. パンフレットの目的に応じてその構成を決め、役割分担をする。

- ・話し合いながら構成を決め、どのページを担当するか決める。
- ・『しまった！』の「表とグラフで表現する」を視聴し、集めた情報の表現方法を考える。
- ・家庭でパンフレットの下書きをする。

4. パンフレットを完成させる。

- ・グループで下書きの相互修正を行い、清書してパンフレットを完成させる。

5. 学習を振り返る。

- ・各グループのパンフレットに対する感想を伝え合い、学習を振り返る。



【活用番組と実践者による番組分析】

活用番組「アクティブ10 プロのプロセス」

「しまった！～情報活用スキルアップ～」

- どちらの番組も情報活用能力を育成する内容となっており、児童の実態や身に付けさせたい力によって、放送回を選んで視聴することができる。
- 様々な教科で活用が可能であり、幅広い場面で生かすことができる。

【本実践における工夫点】

学習計画の工夫

学校と家庭の学びを連動させるために、単元のどの場面で番組を視聴させると効果的なのかを考えて、単元計画を立てた。また、学習を進める上で、児童の活動に合わせてタブレットで番組視聴ができるようにした。

放送回の選定

児童に身に付けさせたい力を考え、放送回を選定した。情報活用能力を育成する番組は複数あるが、児童の実態に応じて番組や放送回を考えた。

【本実践の成果○と課題●】

- 各自が家庭で調べたり準備したりすることで、学校の授業ですぐに情報を共有でき、授業時間内の協働的な学びの時間が増えた。そのことで、多面的な視点で物事を捉えることができたり、自分の考えを深めたりすることができた。
- 番組視聴を通して、情報活用の力が高まったことで、これまで文章を書くことが苦手な児童であっても、調べた情報を基にパンフレットを作ることができた。
- 今回の学習で学んだ情報収集方法やグラフ表現などを、別の機会でも使ってみたいという思いをもった児童がいた。これは、学校の学びと家庭の学びが番組を媒介としてつながったことで、様々な場面で学習を生かすことができることに気付いたからであろう。
- 「アクティブ10 プロのプロセス」「しまった！～情報活用スキルアップ～」の番組活用は、本実践の国語科だけでなく、様々な教科で可能である。どのような場面で活用できるのかを今後も考えていきたい。